

会員の声

—鈴木 泰子 さん（静岡県）—

++++プロフィール++++

兼業農家に生まれ、農業に誇りをもって働く強く優しい母の姿を見て育ちました。結婚後、子どもを3人産んですぐに社会保険労務士試験に挑み、なんとか合格、無謀にも即開業。楽しく人間修行を積みながら14年が経ち、浜松市東区で開業しています。

++++主な仕事++++

地域企業の労働・社会保険諸手続き、給与計算代行、労務相談、助成金申請を行っています。美しく？優秀な2名のスタッフに恵まれ、私は心置きなく外回りです。1日の走行距離は約100キロ、お客様とのコミュニケーション、問題点の抽出、解決方法の提案を最も重視しています。



女性3人の華やかな事務所（中央が鈴木先生）

++++農業との関わり++++

開業間もなく恩師である中小企業診断士の先生から、「農業の労務が出来る人を探しているから」と紹介いただき、農協中央会、県農林事務所、農業会議等の労務講座の講師を多数勤めさせていただいています。そのご縁でたくさんの農業経営者の方々と親交を持つことができました。

また、平成12年から2年間「農業経営・労働環境整備事業」企画専門家会議専門委員を拝命し、「家族経営協定」の大切さを学ぶとともにその根幹は他産業にも共通であると認識しました。更に農業は単に作物生産だけでなく、環境保全、教育

をはじめ農業だから出来る多面的機能が多くあります。

障害者雇用もその一環であり、実践しながら経営発展されている京丸園（株）様は、私に障害者雇用支援という課題を与えてくださり、12年前からお付き合いをさせていただいております。NPO法人しずおかユニバーサル園芸ネットワーク、浜松市ユニバーサル農業研究会にも参加し、農業振興と障害者就業システムの構築を皆様とともに検討しながら実践中です。

++++今後の抱負や農業への期待++++

「雇用型農業」は、人を活かしその力を最大限に引き出し経営の発展に繋げる事が重要です。人材活用には労働条件や社会保障の整備はもちろん、人間関係を円滑に行うことが肝要です。

ちょっと辛口ですが、農業は雇用するルールが曖昧になりがちで、働く人とのトラブルを抱えるケースに数多く直面したのも事実です。しかしながら、私を育ててくれたのはずっと「農業」です。農業には人を育てる土壌があると確信しています。私は「農業専門の社労士さんですか？」と言われるようになりたいと精進しながら、農業を心から応援していきます。